

福高はあなたの「みらい」を応援します!

出会い…
深まる…
みらい学

文理科学科

9月には文理科学科でたくさんの行事が行われます。今回はみらい学Ⅰの第2回研究交流会と第3回特別講義。そして、みらい学Ⅱの第2回京都大学連携講座の様子をお知らせします。

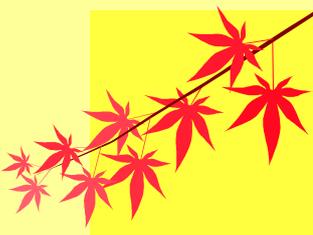
「みらい学」 第二回研究交流会



この「研究交流会」にはたくさんの保護者の方にも参加いただきました。多くの御意見をいただきましたので、今後はそれを参考により良い交流会を目指します。



日本における「環境経済学」の草分け的存在である京都大学の植田和弘教授の特別講義を受けてから早約2ヵ月。生徒たちは悪戦苦闘しながらもパワーポイントの発表資料を作成させることができました。個性的なものが多く、各班の発表ごとに会場がにぎわいました。



発表を「中澤拓人(南陵中学校出身)」

終えて…



今回の交流会では、本番への発表練習に時間をとることができませんでした。そのため、自分がイメージしていたように巧くできず悔しい思いをしました。

そんななか他のグループの発表には素晴らしいものが多く、発表を聞くなかで新しく学ぶことが多かったです。中でも「中山間地域」における発表が一番興味を持ちました。

準備期間において、みんなの取組む姿勢を見ていると、とても真剣でした。ポスターセッションのときより、発表が上手くなっており、今後もっと期待できそうです。みらい学はとても楽しく、「この授業を受けるために文理に来たんだ」という気持ちが授業を受けるたびに強くなっていきます。

この交流会を通じてクラスメイトへの関心が高まったり、自分自身の取組みを振り返ることができ良い機会になったと思います。次の交流会が待ち遠しいです。



京都大学総合博物館の館長である大野照文教授をお招きして「三葉虫」に関する講義を実施しました。実物の化石とユニークな話術を用いた講義は生徒たちの笑顔を2時間絶やすことがありませんでした。生徒たちの講義感想文を読むと、「楽しかった」という意見が大変多かったです。

「みらい学」 第三回特別講義

古生物学

この講義では保護者の方にも参加していただきました。三葉虫のスケッチや大野教授からの質問など、生徒、保護者、学校が一体となって1つの学びが成立したように思います。

次の「法学」の特別講義を受けたあと「第3回 研究交流会」に向けて研究活動がスタートします。

講義を「村井穂永（三和中学校出身）」

受けて…



この講義を受けて「化石はとても面白く興味深いものだ」と感じました。講義の最後に大野先生が「ものをよく観察し、自分の中の体験したデータベースと照合しながら推測することで答えを導き出せ。」とおっしゃった事がとても印象深く記憶に残っています。この言葉の意味はまだよく理解できませんが、これから研究に取り組む際、常に意識しながら活動したいと思います。

「みらい学」 第2回京都大学連携講座

京都大学から4名の講師をお招きし11月に行われる「みらい学Ⅱ 研究発表会」に向けた発表練習を行いました。発表資料が未完成の形で発表するグループもありましたが、講師の先生方は真剣に生徒たちの発表を聞き、親身にまた丁寧な発表指導をしてくださいました。生徒たちは11月の発表本番までに指摘していただいたポイントを参考に改善し、素晴らしい発表に向けて頑張ります。

参加講師

- 京都大学大学院情報学研究科 准教授 荒井修亮様
- 京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授 久代恵介様
- 京都大学大学院情報学研究科 助教 三田村啓理様
- 京都大学総合博物館 研究員 山下俊介様



11月11日（日）午前中に「文理科学科 みらい学研究発表会」が福知山市民会館で実施されます。中学生のみならず、みなさんもぜひ参加してください。